

令和4年度 第1回

## 竜禅寺小学校 学校運営協議会



【入学式】



【避難訓練】

令和4年4月28日（金）15時00分～

# 浜松市立竜禅寺小学校

## 第1回竜禅寺小学校運営協議会

令和4年4月28日 15:00~16:30 : 会議室

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:寺田、記録:佐々木>

1 始めの言葉

2 校長挨拶

3 浜松市教育委員会から 浜松市学校運営協議会規則の確認

4 自己紹介 ※省略。

5 会長の選出(委員の中から互選)・副会長の指名(会長が指名)

6 会長挨拶

7 DVD視聴

8 議長の選出(出席した委員の中から互選)※学校からの指名は致しません。

9 熟議 <議長: 、記録:佐々木>

(1) 学校運営の基本方針について(校長説明→質疑応答→承認)

(2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について(教頭)

(3) 学校運営協議会の自己評価項目の確認、追加項目等について(教頭)

(4) 学校運営協議会への個人情報の取扱いに関する同意書について(教頭)

10 連絡 <司会:寺田、記録:佐々木>

(1) 次回開催 令和4年6月24日(金) 15:00~16:30

(2) // 議長

(3) // 内容

(4) 写真撮影とさくら連絡網

閉会

11 終わりの言葉

# 第1回 学校運営協議会出席者名簿

## 学校運営協議会委員

委員	寺田 成一(てらだしげかず)
委員	松本 直己(まつもとなおき)
委員	鈴木 里枝(すずきりえ)
委員	新井 和美(あらいかずよし)
委員	加藤 京子(かとうきょうこ)
委員	安間 雄一(あんまゆういち)
委員	鈴木 邦明(すずきくにあき)
委員	高須 道男(たかすみちお)
委員	石川裕一郎(いしかわゆういちろう)
委員	倉重 建朗(くらしげたけお)

## 学校

校長	水野敦司(みずのあつし)
教頭	佐々木和也(ささきかずや)
教務主任	松井 康子(まついやすこ)
CS担当教職員	塩崎 弘治(しおざきひろじ)
CSディレクター	伊藤 リカ(いとうりか)

## 浜松市教育委員会

教育総務課	清水 悠(しみずはるか)
-------	--------------



# 令和4年度 浜松市立竜禅寺小学校 学校経営方針



## 1 子供たちを取り巻く現状

### (1) 本校の歴史を振り返って

- 大正14年(1925年)2月、浜松南尋常高等小学校分教場として新設、2か月後浜松龍禅寺尋常小学校として独立、まもなく100年
- この11年間、国語科を窓口として「学び合う学び」についての研究・授業公開を継続、平成30年度からは、キャリア教育に重点を置き、窓口教科を広げ「基礎的・汎用的能力から見た学びの在り方～つながりを意識した教育課程と学び合う学び～」をテーマで研究発表会を実施、本年度は「基礎的・汎用的能力」と「主体的・対話的で深い学び」との関連や在り方について研究(令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染予防のため授業公開の実施はなし)

### (2) 子供たちの様子

- 明るく元気で素直、好奇心旺盛で元気
- 自分から進んで物事に取り組んだり、目標に向かって努力を続けたり、苦しさを乗り越えてやり遂げたりするたくましさの欠如
- 「育成指標」の配付、活用の働き掛けによって、目指す姿の意識の向上
  - ・ 「キャリア教育年間指導計画」の廊下等の掲示、子供たち自身による見通し、活動・学習後の振り返りの充実

### (3) 保護者の願い

- 令和2、3年度はコロナ感染症対応のため、例年とは異なる形で教育活動(PTA活動を含め)を実施→子供たちの学習や生活の姿を目で見て確かめる機会の減少
- 2学期の振り返りアンケートの結果
  - ・ 「コロナ禍の中、よく考えてやってくれている」or「こういう状況だからこそ、やれることをさらに考えてやってほしい」←両方の思い
- 「育成指標」
  - ・ 「問題を解決しよう(課題対応能力)」について、すべての項目において前期の結果よりポイント低下→成長の姿を伝える手立てが不十分、対応の改善

### (4) 南部中学校区の目指す子供の姿

「思いやりをもち、きまりを守る子」

## 2 これからの学校に求められる取り組み

### (1) 新指導要領

- 施行されて3年、コロナウィルス対応のため、十分実践・研究に取り組めていない
  - ・ 特別の教科道徳や中学年で英語活動、ICTの活用・プログラミング学習やキャリア教育等・・・「社会に開かれた教育課程」「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学び」継続

### (2) はままつ人づくり未来プラン

- 第3次浜松市教育総合計画(後期)～「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」・・・「自分らしさを大切にする子供」「夢と希望を持ち続ける子供」「これから社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」

- 「キャリア教育を核とした人づくりの推進」、「教育の情報化」、「コミュニティ・スクールの推進」は変わりなく重点

### 3 学校教育目標

「夢を持ち ともに輝く」



子供たち一人一人が、夢と希望を持って、仲間と励まし合ったり助け合ったりしながら、自分で考えて諦めないで粘り強く挑戦することを通して、生きていくために必要な資質・能力を育むとともに、自分らしさを磨く中で、だれかの役に立っていることの喜び（自己有用感）を感じながら生きていくことができる人になってほしい（主体的な共存共栄）

### 4 学校教育目標具現のための視点

- 平成30年度より、「知」「徳」「体」の視点に加え、教科・領域を横断して育まれるべき4つの資質能力（浜松市が推進するキャリア教育における基礎的・汎用的能力）を通して全教育活動を見直し
- 令和4年度も継続・・・全ての教育活動を通して竜禅寺小学校で育成する能力を具体項目として目指す子供の姿を明確化

### 5 目指す子供の姿

☆「子供たちに育てたい能力の育成指標」（別紙）

- 本年度の重点

(A) 仲間を作ろう（人間関係形成・社会形成能力）

**仲1：友達の良いところを見付けるとともに、自分にも生かそうとする。**

**【他者の個性を理解する力】**

(B) 自分を高めよう（自己理解・自己管理能力）

**自2：自分の目標を見直したり、新たな目標を設定したりする。**

**【自己の動機付け】**

(C) 問題を解決しよう（課題対応能力）

**問1：目的に応じて情報を収集し、その内容を選択・整理・判断して活用する。**

**【情報の理解・選択・処理】**

(D) 夢に近付こう（キャリアプランニング能力）

**夢1：学ぶことや働くことの目的や意義が分かっている。**

**【学ぶこと・働くことの目的・意義の理解】**



### 6 令和4年度の重点

(1) 児童・教職員の健康安全

- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 令和元年度末から、新型コロナウイルスへの対応（感染予防のため）としての様々な見直し（教育課程の変更）の大きな影響
  - ※ 子供たち一人一人が十分に自己有用感を高めていくことができるよう、学校として目指すところはぶれることなく、方策については必要に応じて臨機応変に対応

(2) 社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント

- 「子供たちに育てたい育成指標」を重点に据えた指導～職員、児童、保護者、地域のへ配付、子供像や教育活動の内容を共有する。

## (3) キャリア教育の推進

- 「自分を他者との関係（自分の役割・持ち場）の中でとらえる」  
「子供の未来の姿を思い描きながら、子供に寄り添った指導を進める」
- 浜松市キャリア教育モデル校としての研究の実績を活かし、実践の積み上げ、学校外へ情報発信
- 「キャリア教育年間指導計画」の修正・改善～活動のつながり、次の学年とのつながり
- 見通しとめあてを持たせるオリエンテーション（4月）、ガイダンス、日常的な振り返りとキャリア・パスポートへの記録、学年の振り返りとしての整理（3月）の計画的実施（キャリア・パスポートの内容と子供の意識のつなげ方、内容、選択方法、学年間のつながり等の整理と共通理解）
- 校内研修の充実～「主体的で対話的で深い学び」に「基礎的・汎用的能力の育成」の視点から迫る授業研究（教科の本質を押さえた指導の充実）、キャリア・パスポートの内容と子供の意識のつなげ方の検討、内容、選択方法、学年間のつながり等の整理と共通理解）
- 小中の連携（南部中学校区小中合同研修会）の充実
  - ・ 学校間の連絡を密にすること、夏季休業中の合同研修会実施

## (4) 教育の情報化

- 情報教育の明確な位置付け
- プログラミング学習、マナーや SNS 使用に潜むリスク等の指導、その他活動内容の改善
- 授業や行事における情報機器の積極的な活用
- タブレット PC の日常的な活用や遠隔でのやり取り（学校外での利用も含む）ができる環境整備

## (5) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実

- 活動の具体的な展開（無理や負担感が感じられない形での地域、各種団体による活動）

## (6) 働き方改革

- 新型コロナウイルスへの感染予防を含め、児童とともに職員の安全と安心を優先
- 勤務時間を意識した仕事内容の効率化
- 教職員一人一人が力量を高める時間（研修の時間）の確保
- 会議の内容、実施方法（時間、参加者）等の工夫





未来創造への人づくり

【学校経営目標】

夢を持ち、ともに輝く

確かな学力

豊かな心

健やかな体

重点項目

仲間をつくろう（人間関係形成・社会形成）友達の良いところを見付けるとともに、その良さを自分にも生かそうとしている。【仲1】

自分を高めよう（自己理解・自己管理）自分の目標を見直したり、新たな目標を設定したりする。【自2】

問題を解決しよう（課題対応）目的に応じて情報を収集し、その内容を選択・整理・判断して活用する。【問1】

夢に近付こう（キャリアプランニング）学ぶことや働くことの目的や意義が分かっている。【夢1】

子供たちに育てたい能力の育成指標

他者との関係の中で自分を高める竜禅寺の子

—「今と未来をつなぐ」「こことどこか（わたしとだれか）をつなぐ」—

具体的な取組み

- 社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメントの実践  
～「子供たちに育てたい育成指標」を重点に据えた指導
  - キャリア教育の推進（年間指導計画、キャリアパスポート等）
  - 情報教育の明確な位置付け（ICT教育の充実、ICTの活用）
  - 発達支援教育の充実
  - 児童・教職員の健康・安全対策
  - 校内研修の充実
- ・・・「基礎的・汎用的能力」と「主体的、対話的で深い学び」～ひとりひとりの望ましいキャリア形成の在り方（3年次）～

- OPTA 活動
- 参観会
- 教育相談
- 地域のひと・もの・こと  
←体験
- 保幼小の連携
- 小中一貫教育

南部中学校区 目指す子供像  
思いやりを持ち、きまりを守る

深い愛情を注ぎ、認め、成長を支える家庭

温かく見守り、声を掛け、  
学びを支える地域

学校運営協議会の充実

（コミュニティ・スクール3年）

市民協働による人づくり

## 『子供たちに育てたい能力の育成指標』

## 他者との関係の中で自分を高める竜禅寺小の子

～「今と未来をつなぐ」「ことどこか（わたしとだれか）をつなぐ」～

## 仲間をつくろう（人間関係形成・社会形成能力）

	仲1 他者の個性を理解する力	仲2 コミュニケーションスキル	仲3 リーダーシップ	仲4 協調性・協力的性
高学年	友達の良いところを見付けるとともに、その良さを自分にも生かそうとする。	目的を持ち、その達成のために他者とコミュニケーションをとる。	リーダーとして連絡調整をし、友達をまとめ、集団を動かす。	友達の意図を理解した上で自分の考えも伝えながらより良い方向へ協力する。
中学年	友達の良いところを見付け、その良さが分かる。	自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりする。	友達の意見を聞き、自分の意見を加えながら集団をまとめる。	友達の考えが分かり、より良い方向へ協力する。
低学年	友達の良いところを見付ける。	友達や先生などの話をよく聞く。	友達に自分の意見を伝える。	友達と力を合わせる。

## 自分を高めよう（自己理解・自己管理能力）

	自1 自己の役割の理解	自2 自己の動機付け	自3 忍耐力	自4 主体的行動
高学年	周りとの関係の中で、自分の役割が分かり、責任を果たそうとする。	自分の目標を見直したり、新たな目標を設定したりする。	自分の取組を修正したり工夫したりして粘り強く改善する。	自分がしなくてはいけないことや自分のしたいことに取り組む。
中学年	自分の役割が分かり、責任を果たそうとする。	自分の目標を決める。	自分の目標に向かって最後まで努力する。	自分の目標に向かって進んで取り組む。
低学年	自分のすべきことが分かる。	好きなことやしたいことを見付ける。	自分が決めたことをやり遂げる。	好きなことやしたいことに、自分から取り組む。

## 問題を解決しよう（課題対応能力）

	問1 情報の理解・選択・処理	問2 課題発見	問3 計画立案	問4 実行力
高学年	目的に応じて情報を収集し、その内容を選択・整理・判断して活用する。	より良い社会や生活、学びにするための課題を見付ける。	より良い社会や生活、学びにするための課題を解決するために活動計画を立てる。	活動計画に基づき、必要に応じて修正をしながら、実行する。
中学年	読んだり聞いたりしたことから必要なものを選び、学びに生かす。	より良い生活や学びにするために必要なことを見付ける。	より良い生活や学びにするために、どうすればよいか分かる。	より良い生活や学びにするために、考えたことを実行する。
低学年	読んだり聞いたりしたことをもとにして考える。	学校生活でできるようになりたいことを見付ける。	目当てをできるようにする方法を考える。	考えた方法で取り組む。

## 夢に近付こう（キャリアプランニング能力）

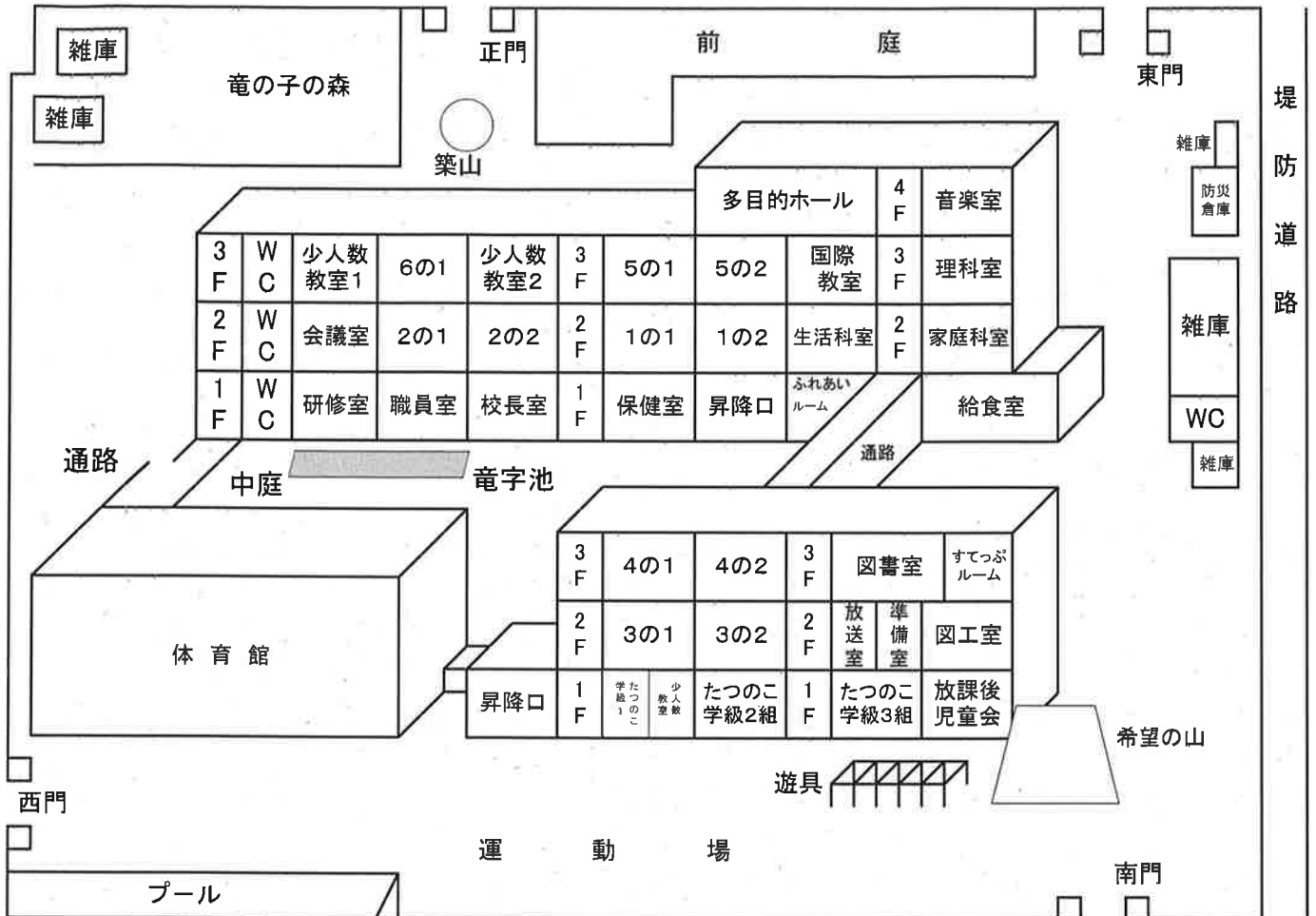
	夢1 学ぶこと・働くこと の目的・意義の理解	夢2 生き方の多様性の理解	夢3 将来設計1	夢4 将来設計2
高学年	学ぶことや働くことの目的や意義が分かっている。	いろいろな自分らしさや取り組み方があることが理解し、肯定的に認める。	社会や身の回りと、自分とのつながりを意識して、将来やってみたいことの見通しを持つ。	見通しを持ち、将来やりたいことを実現するために、すべきことを積み重ねていく。
中学年	学ぶことや働くことの喜びを感じている。	いろいろな考え方を受け止めて、理解する。	学んだことと自分とのつながりに気付き、なりたい自分を見付ける。	なりたい自分に向かって、すべきことを行う。
低学年	学校でするいろいろなことを楽しむ。	いろいろな考え方があることを知る。	なりたい自分を思い描く。	



竜禅寺小学校 情報活用能力育成目標

学年	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
Ⅰ 基本的な操作・活動スキル等	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れる</li> <li>Googleアカウントでログインする</li> <li>キーボードの基本操作(リターン、スペース、デリート等)</li> <li>タッチパッドの基本操作(クリック、ダブルクリック)</li> <li>マウスパッドの基本操作(ドラッグ、スクロール、クリック)</li> <li>電源を切る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードを使い、平仮名をローマ字入力することができる</li> <li>ローマ字入力した文字を必要に応じて漢字等に交換することができる</li> <li>作ったファイルに名前を付けて保存することができる</li> <li>フォルダを作成することができる</li> <li>複製した文字を拡大、縮小したり、トリミングしたりすることができる</li> <li>録音した音声を確認することができる</li> <li>録音した音声を再生することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの検索ができる</li> <li>フォルダを作成し、階層を意識しながらファイルを整えることができる</li> </ul>
①PCの基本的な操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードを使い、平仮名をローマ字入力することができる</li> <li>ローマ字入力した文字を必要に応じて漢字等に交換することができる</li> <li>作ったファイルに名前を付けて保存することができる</li> <li>フォルダを作成することができる</li> <li>複製した文字を拡大、縮小したり、トリミングしたりすることができる</li> <li>録音した音声を確認することができる</li> <li>録音した音声を再生することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットに接続し、ホームページを開覧することができる</li> <li>キーボード検索をすることができる</li> <li>複数のキーワードを使って検索したり、削除したりすることができる</li> <li>「お気に入り」や「ブックマーク」に登録したりすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のキーワードを組み合わせて、情報を見つけることができる</li> <li>「履歴」から閲覧したページを探し、表示することができる</li> </ul>
②ウェブ検索による情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワード検索ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の図書館を利用し、辞典や図鑑などから、必要な情報を探ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の図書館を利用し、複数の本や新聞などを活用して必要な情報を見付けることができる</li> </ul>
③図書等の資料の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の図書館を利用し、辞典や図鑑などから、必要な情報を探ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の図書館を利用し、辞典や図鑑などから、必要な情報を探ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の図書館を利用し、複数の本や新聞などを活用して必要な情報を見付けることができる</li> </ul>
④インターネット・アプリケーション等による情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰にどんなことを聞くのか、質問を用意することができる</li> <li>学校の図書館を利用し、辞典や図鑑などから、必要な情報を探ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰にどんなことを聞くのか、質問を用意することができる</li> <li>大卒だと思ったことをもたずすにメモを取ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に合った質問の内容や順序を考えることができる</li> <li>聞き取った内容のポイントをキーワードや短い文章でまとめることができる</li> </ul>
⑤発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい事柄や相手に応じて声の強弱や抑揚、間の取り方などを工夫して話すことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい事柄や相手に応じて声の強弱や抑揚、間の取り方などを工夫して話すことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を示しながら、自分の考えが伝わるように話すことができる</li> </ul>
①情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中から課題解決に役立つ情報を選ぶことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中から課題解決に役立つ情報を選ぶことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や審問に応じて、日常生活の中から情報を集め、情報を分類したり、関係付けたりすることができる</li> </ul>
②情報の整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>得た情報から必要なことを、比較・分類しながらまとめることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>得た情報から必要なことを、比較・分類しながらまとめることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を組み合わせて、共通点や相違点をまとめることができる</li> </ul>
③情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に意識して分かりやすく表現することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に意識して分かりやすく表現することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や相手に合わせて表現方法を選択し、様々な情報を組み合わせる表現することができる</li> </ul>
④評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用の場面を振り返り、できるようになったことに気付くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用の場面を振り返り、できるようになったことに気付くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用の場面を振り返り、次にやってみたいことを考えることができる</li> </ul>
⑤問題解決の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の流れを表すことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の流れを表すことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決までの手順を順次・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現できる</li> </ul>
⑥試行錯誤	<ul style="list-style-type: none"> <li>うまくいかないところを見付け、どのようにすればよいか、手順を考えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うまくいかないところを見付け、どのようにすればよいか、手順を考えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試作やシミュレーションを通して問題解決の方向性や改善策を見出すことができる</li> </ul>
①問題解決・探究における情報活用の態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を使いながら、意欲的に問題を解決しようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を使いながら、意欲的に問題を解決しようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて情報の活用を見直しを立てながら、問題を解決しようとする</li> </ul>
②コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手によって受け止め方が違うことを意識し、相手のことを考えて情報を発信することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手によって受け止め方が違うことを意識し、相手のことを考えて情報を発信することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の情報が伝わる範囲を考え発信する情報に責任をもつことができる</li> </ul>
③法と権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>人のつくった作品やデータを大切に、使う時には、その人の許可を得てから使う</li> <li>人の意見を尊重したり、人の映った写真を使ったりする時は、その人に言ってから使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人のつくった作品やデータを大切に、使う時には、その人の許可を得てから使う</li> <li>人の意見を尊重したり、人の映った写真を使ったりする時は、その人に言ってから使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権や肖像権、プライバシーについて理解し、尊重しようとすることができる</li> </ul>
④ルール・マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを使ったり、情報をやり取りしたりするときにはルールやマナーが必要であることに留意し、トラブル等を使うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを使ったり、情報をやり取りしたりするときにはルールやマナーが必要であることを理解し守ろうとすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを使ったり、情報をやり取りしたりするときのルールやマナーを保護者や先生、友達と一緒に守ることができる</li> </ul>
⑤個人情報保護セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者に伝えてはいけない情報を守ろうとすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者に伝えてはいけない情報を守ろうとすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や他人の情報の大切さを理解し守ろうとすることができる</li> <li>なりすましやウイルスなどの危険ファイルタティングの大切さを理解することができる</li> </ul>

# 校舎・教室配置図



## 職員組織

校長	水野 敦司
教頭	佐々木和也
教務主任	松井 康子
研修主任	鈴木 尚子
生徒指導主任	今田 法恵
発達支援教育 コーディネーター	北島 範子
道徳教育推進教師	徳田 真里
特別活動主任	藤沼 頼一
キャリア教育推進委員	近藤 仁志
情報教育推進員	鈴木 幹恵
学校防災リーダー	木根 道男
外国人児童指導	小名木克之 山下 聡子
養護教諭	北島 範子
事務職員	鈴木 望
給食員	鈴木 千尋 谷中理 敏子
用務員	伊堂 勇一 杉本 鉄次

初任研 後補充等
池谷 裕之
外国人児童生徒 就学支援員
宮川 恵

## 学年・学級編制及び児童数

R4.4.28 現在

1年					2年							
組	担任	男子	女子	計	組	担任	男子	女子	計			
1	井口 幹也	16	14	30	1	徳田 真里	14	11	25			
2	菅 麻美	15	15	30	2	橋本 幸蔵	14	11	25			
学年合計		31	29	60	学年合計		28	22	50			
3年					4年							
1	木賀 峻人	13	15	28	1	近藤 仁志	16	11	27			
2	今田 法恵	12	15	27	2	鈴木 尚子	16	11	27			
学年合計		25	30	55	学年合計		32	22	54			
5年					6年							
1	広瀬サユリ	13	13	26	1	藤沼 頼一	21	19	40			
2	坂口 陽介	13	13	26					0			
学年合計		26	26	52	学年合計		21	19	40			
発達学級												
たつこの1	鈴木 幹恵	5	1	6	たつこの3	木根 道男	6	1	7			
たつこの2	塩崎 弘治	6	1	7	たつこの合計		17	3	20			
級外: 松井康子、山下聡子、 増田千寿乃、小名木克之							全校			180	151	331
スクール ヘルパー	発達支援 教室支援員	学習支援員	理科支援員	図書館補助員	パート給食員	校務アシスタント	ALT					
大力 典子	鈴木 真代	三浦千佳代	田中 保美	中村 麻恵	西田 澄恵 三好 明美	伊藤 リカ	ロリ・マルテル					

年間教育活動計画

令和4年度

浜松市立竜禅寺小学校

4月26日現在

日	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月	日
1	金	(A)	日		水	普4	金	特5 委員会活動4 4年下水道教室③④(仮)	月	(A)	木	普3 避難訓練 身体測定(4年,た)【1】	1
2	土		月	(B)特5 1年生を迎える会 希望制家庭訪問、自宅確認	木		土		火		金	特5給食・出入り授業開始 身体測定(5,6年)【1】委員会活動5	2
3	日		火	憲法記念日	金	委員会活動3	日		水		土		3
4	月	(B)	水	みどりの日	土		月	(A)特6	木		日	PTA資源回収②	4
5	火		木	こどもの日	日		火	特6 4・5年宿泊訓練(かわな)【3】	金		月	(B)特6 身体測定(1~3年)【1】	5
6	水	普3(6年変則特4)新任式【1/3】 始業式【1】入学式準備【1】(6年)	金		月	(A)小中合同研の場合普4 移動環境教室10日まで(仮)	水	特5 4・5年宿泊訓練(かわな)【3】	土		火	特6	6
7	木	普3 入学式【1】 2~6年生休み	土		火	尿検査3次	木	特6	日		水	特5	7
8	金	普3	日	PTA資源回収①	水	朝会2(いのち) 代表委員会3	金	特5 4年ストレスマネジメント教室第1希望	月	(B)	木	特6	8
9	土		月	(A)代表委員会2	木	5年移動環境教室⑤⑥	土		火		金	特5	9
10	日		火	尿検査1次	金	内科検診(た・2・4・6年)13:30	日		水		土		10
11	月	(A)普4 給食開始 身体測定【1】	水	朝会1 眼科検診(全学年)13:00	土		月	(B)特6	木	山の日	日	PTA資源回収②(予備日)	11
12	火	普4 視力検査4/18まで	木	歯科検診8:30(全)【1】	日	いのちについて考える日	火	特6 4年ストレスマネジメント教室第2希望	金	学校閉庁日	月	(A)特6	12
13	水	出入り授業開始 避難訓練【1】 聴力検査、代表委員会1	金	委員会活動2	月	(B)特5 クラブ1 読書週間~19日まで	水	普3給食なし 部会水泳記録会(トビオ)	土		火	特6	13
14	木	聴力検査	土		火		木	特6 防犯教室AM【1】	日		水	特5	14
15	金	委員会活動1 聴力検査	日	PTA資源回収①(予備日)	水		金	特5 読み聞かせ3	月	(A)学校閉庁日	木	特6	15
16	土		月	(B)	木	普5 参観会・南中説明会・懇談会	土		火		金	特5 読み聞かせ4	16
17	日		火		金		日		水		土		17
18	月	(B) 薬学講座5・6年⑤	水	耳鼻科検診(1・4年)13:30	土		月	海の日	木		日		18
19	火	6年全国学力・学習状況調査(国算理) 心電図検査【1】	木		日		火	(A)特6	金		月	敬老の日	19
20	水		金	読み聞かせ1 内科検診(1・3・5年)13:30	月	(A)特5 クラブ2	水	特5給食・出入り授業終了	土		火	(B)特6	20
21	木		土		火		木	普3 終業式【1】 キャリアカウンセリング(午後)	日		水	特5 参観会・6年修学旅行説明会 PTAバザー	21
22	金	短4給食なし 参観会・PTA総会・引渡し訓練	日		水	ペア学年交流1(昼L)	金		月	(B)	木	特6 5年SDGs講座⑤⑥(第1希望)	22
23	土		月	(A)	木		土		火		金	秋分の日	23
24	日		火	尿検査2次	金	読み聞かせ2	日		水		土		24
25	月	(A)特5 希望制家庭訪問、自宅確認	水	普4	土		月	(B)キャリアカウンセリング 30分間回泳11:00	木		日		25
26	火	特5 計算力調査② 希望制家庭訪問、自宅確認	木	普4	日		火	キャリアカウンセリング	金		月	(A)特6	26
27	水	特5 希望制家庭訪問、自宅確認	金	校内運動会【2】 宿泊訓練保護者説明会	月	(B)特5 クラブ3	水		土		火	特6 5年SDGs講座⑤⑥(第2希望)	27
28	木	特5 交通教室【1】 希望制家庭訪問、自宅確認	土		火		木	キャリアカウンセリング	日		水	特5 4年ストレスマネジメント教室第1希望	28
29	金	昭和の日	日		水		金	キャリアカウンセリング	月	(A)	木	特6 4年社会科校外学習 (南部中文化発表会)	29
30	土		月	(B)普5 運動会・宿泊訓練保護者会予備日	木	交通安全リーダーと語る会⑥	土		火		金	特5 朝会3 ※ゆみ配付キャリアパスポート持ち帰り日	30
31	日		火		水		日		水	普3 始業式【1】			31

現時点における計画です。変更する場合がありますので御了承ください。

日	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月	日
1	土		火	6年修学旅行	木		日	元日 ■年末年始の休業日	水	(A) ペア学年交流3(昼L)	水	(A)特5	1
2	日		水	普4	金	3年スクール119(第1希望) 代表委員会5	月	■年末年始の休業日 (A)	木		木	特5	2
3	月	(B)特5クラブ4	木	文化の日	土		火	■年末年始の休業日	金	入学説明会(旗振り講習会)	金	特5	3
4	火	新体力テスト(低)	金	委員会活動7	日		水	学校閉庁日	土		土		4
5	水	新体力テスト(中)	土		月	(A) 学校保健週間 学校保健委員会	木		日		日		5
6	木	新体力テスト(高)	日	PTA資源回収③	火	普4キャリアカウンセリング 色覚検査	金	普3 3学期始業式【1】	月	(B)特6	月	(B)特5 キャリア・パスポート持ち帰り(8日まで)	6
7	金	代表委員会4、委員会活動6 4年ストレスマネジメント教室第2希望	月	(A)	水	普4キャリアカウンセリング	土		火	6年SDGsとエシカル消費講座第1希望	火	特5	7
8	土		火	6年南部中部活動見学15:30-	木	普4キャリアカウンセリング	日		水	6年SDGsとエシカル消費講座第2希望	水	特5 卒業式練習	8
9	日		水	普4 朝会4	金	委員会活動8	月	(B)成人の日	木	特6	木	特5	9
10	月	スポーツの日	木		土		火	給食開始 出入り授業開始	金	委員会活動10	金	普4 卒業式総練習	10
11	火	(A)	金		日		水	県定着度調査(国・算)	土	建国記念の日	土		11
12	水	ペア学年交流2(昼L)	土		月	(B)普4キャリアカウンセリング 3年スクール119(第2希望)	木	身体測定(1~3年)	日		日		12
13	木	音楽鑑賞教室(志多ら)	日	PTA資源回収③予備日	火	特5キャリアカウンセリング	金	身体測定(た、4~6年) 委員会活動9	月	(A)	月	(A) 特5 キャリア・パスポート回収締め切り	13
14	金		月	(B)	水		土		火	普5 参観会(4年1/2成人式)	火	特5 給食最終・出入り授業最終	14
15	土		火		木		日	PTA資源回収④	水	朝会5	水	普3	15
16	日		水	普3 給食なし 就学時健診	金	読み聞かせ7	月	(A)	木	5年こども音楽鑑賞教室12:45	木	普3(変則4:5年) 修了式【1】 あゆみ配付 卒業式準備	16
17	月	(B)普3給食なし 部会陸上(四ツ池)	木	2年生活科校外学習	土		火		金	ボランティアに感謝する会	金	普2(5、6年) 卒業式(午前)	17
18	火	特5 市教委指導課計画訪問	金		日		水	代表委員会6	土		土		18
19	水		土		月	(A)	木		日		日		19
20	木		日		火		金	読み聞かせ8	月	(B)	月	(B)	20
21	金	読み聞かせ5 学校移動博物館「天竜川の治水」(28まで)	月	(A)特5 ドラゴン発表会準備6年(特6)	水	普4 給食終了 出入り授業終了	土		火		火	春分の日	21
22	土	市陸上大会	火	ドラゴン発表会【3】	木	普3 終業式【1】	日	PTA資源回収④予備日	水		水		22
23	日		水	勤労感謝の日	金		月	(B)給食週間~1/27	木	天皇誕生日	木		23
24	月	(A)特5クラブ5最終(3年見学)	木		土		火		金	6年生を送る会	金		24
25	火	3年社会科校外学習	金	読み聞かせ6	日		水		土		土		25
26	水	(南部中体育大会)	土		月	(B)学校閉庁日	木		日		日		26
27	木		日		火	学校閉庁日	金	6年南部中入学説明会	月	(A)	月	(A)	27
28	金		月	(B)歌声を聴く会	水	学校閉庁日	土		火	特6	火	(離任式)	28
29	土	PTA親子ドッジボール大会	火	市音楽科研究発表会(4年)9:45-11:00	木	■年末年始の休業日	日					水	29
30	日		水	市学力調査3・5年	金	■年末年始の休業日	月	(A)				木	30
31	月	(B)6年修学旅行			土	■年末年始の休業日	火					金	31

現時点における計画です。変更する場合がありますので御了承ください。

(様式1)

令和4年4月28日

浜松市立竜禅寺小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 倉重 建朗 様

浜松市立竜禅寺小学校運営協議会  
会長 石川裕一郎

### 夢育やらまいか事業に対する意見書

令和4年4月28日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

##### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

キャリア教育を推進してくために、外部の人材を活用して教育活動を進めてほしい。生き方教育に係る学習の取組の記録を蓄積も続けてほしい。

また、教育の情報化を一層推進してくために情報機器の積極的な活用に資するための用品の購入も進めてもらいたい。

さらに、児童の読書教育を進めるために、読み聞かせ用の本を充実させてほしい。



浜松市立小中学校運営協議会長各位

浜松市教育委員会 教育総務課  
学校・地域連携担当課長 齋藤 美苗

令和4年度学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について（依頼）

春暖の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本市のコミュニティ・スクールにつきまして御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、学校運営協議会は、浜松市学校運営協議会規則第8条第2項に基づき、毎年度、自己評価を行わなければならないこととなっています。評価に当たっては、別添「学校運営協議会自己評価実施要項」に沿って実施し、結果について下記のとおり御報告願います。

#### 記

- 1 提出物 「令和4年度学校運営協議会自己評価表」（様式1）
- 2 提出期限 令和5年 2月末日
- 3 提出先 各学校へ御提出ください。
- 4 その他
  - (1) 自己評価の手順について、実施要項、自己評価表作成の留意点【評価の視点】、様式1・記載例を参考にしてください。協議会において、委員全員で十分に話し合っ  
て進めていくようにしてください。
  - (2) 自己評価の結果については、CS便りや学校ウェブサイト等を活用し、広く保護者  
や地域住民等に公表するよう努めてください。
- 5 担 当 教育総務課 地域連携G 清水・鈴木 電話：457-2401

## 学校運営協議会自己評価表 作成の留意点

学校運営協議会制度は、教育課程の改善・充実や特色ある学校づくりなど学校運営を強化する仕組みである。

対話や信頼・納得をベースとする仕組みであることから、学校運営協議会が、自己評価の視点として「熟議」の在り方を中心に据え、熟議をととした学校運営協議会の充実に向けて、よりよく改善していく意義は大きい。

その結果、合議に基づき、学校運営に参画するとともに、保護者、地域住民等の学校運営への参画を促進し、学校運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図ることができる。

コミュニティ・スクールが持続可能で有効なものになるためにも、学校運営協議会が自己評価を行い改善していくことが、質の維持・向上にとって重要である。

### 【 評価の視点 】

#### <評価項目1> 必須○ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長の後押し、学校運営の経営強化のために当事者として、参画する自覚を持っている。
- 「はままつ人づくり未来プラン」の教育理念を理解している。
- 自校の学校教育目標、めざす子供像を理解している
- 自校の学校・家庭・地域の実態を踏まえ、「育てたい力」を共有している。
- 学校運営と学校評価、学校関係者評価について理解している。
- 学校教育に関する用語やその意味を理解しようとしている。
- 分からない用語があれば、質問し、理解に努めている。
- 「社会に開かれた教育課程」の意味を理解している。
- 学校教育の現状について、深い理解につながっている。(成果や課題)
- 委員同士が信頼関係を深めている。
- 他の委員の考え方を聞き、新たに視野を広げている。

#### <評価項目2> 必須○ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 地域学校協働活動の意味を理解している。
- 自校の「育てたい力」とそのために必要な地域学校協働活動のつながりを考えている。
- 学校・家庭・地域の役割分担を意識している。
- 学校運営に必要な支援について、積極的に協議している。(ねらい、主体、システム等)
- 地域・保護者に広く周知するため、その取組に積極的に参画、参加をしている。
- 地域・保護者に広く周知する方策を考え、その取組を評価・検証している。
- 地域・保護者に広く参加を促す方策を考え、その取組を評価・検証している。
- 有用感、満足感を感じている。

#### <評価項目3> 必須○ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

※ 自校の実態を踏まえ、具体的に方向性を示す。

※ 教育活動の充実のために、「熟議」に基づき、学校と地域の協働につなげる。

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( )学校運営協議会長

必須

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

必須

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

--

必須

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

--

※評価項目を追加する場合は、協議会で協議して決定する。

<評価項目4～> ( )

--

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 学校長から学校運営の基本方針、行事等について丁寧な説明があり、学校の課題や目標を共有することができた。
- ・ 学校長の示す学校運営の基本方針は、アンケートによる分析の基、体系的に整えられており、各活動が網羅的に、きめ細かく整理され、それが具体的な実践に結びついていることについて、熟議の中で明らかにすることができた。
- ・ 学校運営の基本方針として、児童、保護者、先生方にも定着してきていることについて、熟議の中で分かった。
- ・ 各委員が、学校経営の基本方針について、各委員が意見を述べ、充実した熟議をすることができた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・ 学校運営の基本方針に基づく各学年の実践発表を聞くことで、各学年が振り返りアンケートの結果に基づき、視点を決めて取り組んでいることが熟議の中で分かった。特に、評価の低いところについて、臨機応変に教育活動を変更して取り組んでいることが、熟議を通して理解できた。また、先生方の改善策の取組について後押しすることにもつながった。
- ・ 学校経営の基本方針に基づく具体的な取組について、実践がなされているか、熟議をすることで確認することができた。
- ・ お手伝いカード、図書ボランティア、落ち葉拾い、花壇のお手伝いなど、運営協議会2年目に当たり、学校を応援する立場として、様々な取組を熟議することができた。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 新型コロナウイルスが落ち着いてきたら、学校が困っていることなどに協力していきたい。特に、落ち葉拾い、花壇のお手伝いなど、来年度は、実現できそうなものについてさらに熟議を進めて取り組めるようにしたい。
- ・ 学校運営協議会の在り方はまだまだ深まっていない。どのような役割を果たしたらよいか、どのような具体的な実践活動があるのか、運営協議会の果たす役割について熟議を重ねていく必要がある。
- ・ 学校運営協議会が主体となって行えることについて、中心となってボランティアを行う方の人材を発掘し、より地域とのつながりを持っていけるようにできる取組をしたい。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、子供たちの様子を参観する機会がなかったため、感染の心配がなくなってきたら、実際の子供たちの様子を見て熟議を重ねていきたい。

(あて先) 浜松市長

## 同意書

個人情報の取扱いについて、以下の事項を確認の上、同意します。

【個人情報の取扱いについて】

記載された個人情報は、当該附属機関の運営、庁内での内部利用及び統計資料（各附属機関の男女登用率等）の作成・公表以外には使用いたしません。

なお、氏名は、会議資料及び会議録のほか、学校ホームページへ掲載いたします。

年 月 日			
(フリガナ) 氏名		性別	1. 男 2. 女 3. その他
			4. 答えたくない
※ 署名又は記名押印をしてください。		※ 自認する性別について選択してください。	



竜禅寺小 学校運営協議会 年間開催計画

記入者： 佐々木和也		提出日： 2022/4/8		
	開催日	開始時刻	～	終了時刻
第1回	4月28日(木)	15:00	～	16:30
第2回	6月24日(金)	15:00	～	16:30
第3回	12月2日(金)	15:00	～	16:30
第4回	2月20日(月)	15:00	～	16:30
第5回			～	
第6回			～	

令和3年度 第4回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年2月21日（月） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 福山 真由美、寺田 成一、松本 直己、鈴木 里枝、加藤 京子、  
安間 雄一、鈴木 邦明
- 4 欠席委員 石川 裕一郎、新井 和美、高須 道男
- 5 学 校 水野 敦司（校長）、中道 昌良（教頭）、松井 康子（教務主任）、  
瀬崎 康弘（CS担当）

6 傍聴者 なし

7 協議事項

- (1) 学校評価の結果、成果と課題 来年度の学校運営の基本方針について
- (2) 落ち葉拾い、花壇のボランティアについて
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

8 会議録作成者 教頭

9 会議記録

委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立していることを確認した。また、議事録署名人を寺田委員とした。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について、福山会長を推挙する発言をしたところ、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校評価の結果、成果と課題

①学校評価の結果、成果と課題について

○今後の教育活動のうち、「3 問題を解決しよう」について、来年度「情報の理解・選択・処理」に目標を変えていくことが分かった。本年度の「計画立案」については、民間でも計画を立てて実行していくことが難しいため、子供たちに取り組みせるには、大変であったと思う。（松本委員）

○小学生の頃は、いろいろな体験をしていろいろな学びをする時期であり、自分の学びややりたいことなどの方向性が固まっていない時期であると思う。大人でも、自分が何に取り組んだらいいかわからない人もいる。そうした大人には、10歳ぐらいの時に何が好きだったか聞くと、その人が取り組みたいことが出てくることが多い。そのため、計画立案を目標にすることは難しいと思う。（里枝委員）

○「仲間を作ろう」の取組に出てくる「ドラゴン賞を年2回から通年にすること」について、年2回だけでは機会が少ないこと、子供たちがドラゴン賞を励みにしたいことを受けて、来年度はいつでも教員が賞揚する場を作ることが分かった。（松本委員）

○人間関係づくりプログラムについて、人との接し方、関わりの仕方などのプログラム、その振り返りカードなど、内容がどのようなものか分かった。子供たちの授業を受けた後の振り返りの場を大切にしたい。（里枝委員）

○グラフをみると、例年、15「将来設計1」、16「将来設計2」の数値が低いことが目立っているが、低学年、中学年にこれらの目標項目がない中で、高学年の項目を使用してアンケートをとっていることが、数値が低くなる要因の一つであることが分かった。来年度、低学年、中学年用の目標を設定することも分かった。無理な設定にしないようにしてほしい。(安間委員)

②来年度の学校運営の基本方針について

○グランドデザインについて、令和3年度と比べて、令和4年度については、確かな学力、豊かな心、健やかな体について、基礎的・汎用的能力をどう位置付けているか考えて作成していることが分かった。基礎的・汎用的能力の中で、3つのうちどの力と関わらせているかが分かった。(松本委員)

○学校経営方針は、平成29年度まで知、徳、体の目標であったが、平成30年度からは4つの基礎的・汎用的能力に変わった。本年度、前校長先生から引き継いで経営していることも分かった。校長先生が変わっても経営方針を引き継いでいるもの、見直しているものがあると思うので、ぜひ校長先生の個性を経営方針に反映していただきたい。「夢を持ち ともに輝く」は良い目標である。教職員で子供の実態を議論し、学校教育目標などについて議論することで学校を活性化させることはとても大切であり、そこに校長先生の考えを入れることが学校を生き生きさせることにつながる。学校の経営目標は浜松市の方針を受けて、考えに考え抜かれたよくなったものである。(安間委員)

○校長先生が替わると、学校が変わる。校長先生の個性が出てくるのが2年目であると思う。竜禅寺小学校も以前と比べてずいぶん変わってきた。来年度、さらに校長先生の個性が出てくるのではないか。(里枝委員)

○知、徳、体は、学習指導要領の大きな柱で、どこの学校でも考えていることが分かった。また、竜禅寺小のように、基礎的・汎用的能力の4つの力を柱にしている特色がある学校もあると思う。卒業生が近隣の学校の児童と同じ中学校に進学したときに、様々な子供が交わるのは重要であるため、それぞれの小学校の取組を共有し、小学校同士の連携をしてほしい。(松本委員)

(3) 落ち葉拾い、花壇のボランティアについて(寺田コーディネーターからの報告)

○寺島公園でグランドゴルフをしている方にボランティア活動ができるか話をしてみた。皆様、高齢者であったため、グランドゴルフ以外はなかなか活動が難しく、若い人が入るようであれば再度自分に声を掛けていただけるとお願いをした。

○体育協会の方に、落ち葉拾いをお手伝いできないか聞いた。体育協会の方から、2月に会合があるから話をしてみますと言われた。その後、返事があり、承諾をいただきました。日時ややり方など、活動について詳しいことをまた決めたい。特に、新型コロナウイルス感染症予防を踏まえ、接触に気を付けて活動していきたいと考えている。落ち葉が多くなる秋口から具体的に進めていけたらと思う。

#### (4) 学校運営協議会の自己評価について

- 様々な児童がいて、皆、性格が違う中、先生方が努力して勤務されていることについて、話し合うことができた。先生方に今後も努力を続けて欲しい。(邦明委員)
- 学校経営方針は、体系的に整えられており、各活動が網羅的に、きめ細かく整理され、それが、具体的な実践に結びついていることが話合いでよく分かった。協議会の在り方についてはまだまだで、どのような役割があるか、どのような具体的な実践活動があるか、皆様と協議しながら、運営協議会の果たす役割について、もう少し議論が必要と感じる。(安間委員)
- 学校運営協議会の3つの役割について規則に定められていることが活動を通してよく分かった。(松本委員)
- 校長先生の示す学校経営の基本方針について、意見を言うのはなかなかできないが、教職員の任用について言うも難しい。また、いろいろな個性を持った教職員がいた方が良く、そうした組織は活性化する。昔、子供の担任の先生がおもしろい方で、担任に決まったとき、しっかり勉強しないといけないと言い、子供が自主的になった。また、それぞれの子供の個性が先生に伝わるのが大切であると思う。(安間委員、里枝委員)
- 学校の取組について、心配だから、大丈夫ですか？と学校に声を掛けるのも委員の仕事であると思う。(里枝委員)
- 子供の体力が心配。最近、タブレットを使った授業が進んでいる。タブレットはとても賢い道具でタブレットを頼る時代になったが、辞典をひくことを学校で大切にしていることも分かった。タブレットだけだと人間が身に付けるべきコミュニケーションの部分も全部とられてしまうことのように感じる。人間関係づくりが大切で、人と関わらないと身に付かない。新型コロナウイルスが流行する以前のように教育活動が戻っていくのか。人と人が関わる時に空気感が必要で、ライブと映像では空気感が全く違う。タブレットだけだと、人間としての精神的な病も心配される。タブレットを活用している場面をみると、このままでは人間の形成としてよくないのではないかと感じてしまう。以上のことから、新型コロナウイルスの影響で委員が学校の授業を見ることがなくなってしまうため、今後、実際の子供たちの様子を見て議論を重ねていきたい。(松本委員、安間委員、里枝委員、加藤委員)

メモ

A large rectangular area with a blue border and horizontal lines, resembling a memo pad or lined paper. The top-left corner is folded over. The page contains 20 horizontal lines for writing.